

1. 科目名 (単位数)	精神保健学 (2単位)	3. 科目番号	EDHE2303
2. 授業担当教員	滝川 英昭		EDHE2306
4. 授業形態	講義、プレゼンテーション、ディスカッション、レスポンスシート	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	養護教諭として求められる「乳幼児から老年期までの各ライフステージにおける精神保健」、「精神保健における個別課題（家庭・学校・地域・職場・司法精神保健など）」、「精神保健に関する法制度・行政のしくみ」「世界の精神保健事情」についての最新事情を学び、将来の自身のあり方を選択することに役立てる。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「養護教諭」として必要な精神保健学の知識を身につける。 ・精神保健の最新事情を知り、学校現場における「精神保健」の意義や課題について考える。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	講義で取り上げた項目や学生の関心事項の中から、選択してレポートを作成し提出する。詳細は授業で説明する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編 『新版 精神保健福祉士養成セミナー2 精神保健学—精神保健の課題と支援』へるす出版、2014。 【参考書】 日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療』中央法規、2012。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1、ライフサイクルにおける精神保健について理解しているかどうか。 2、障害に対する理解をしているかどうか。 3、精神保健福祉の個別課題に対し、理解しているかどうか。 4、我が国と諸外国の精神保健を理解しているかどうか。 ○評定の方法 1、積極的参加度（毎回の提出物、授業への積極的参加度）50% 2、課題レポート、プレゼンテーション 10% 3、復習テスト（2回実施）の総計点数 40% 以上の結果を総合的に判断する。 なお、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮する。		
12. 受講生へのメッセージ	精神保健は、過去・現在そして将来、あなた自身を見つめ、把握し、自身を守るスキルとなる。自分の個体生存のためにも今学んでいるという視点をもって取り組むこと。講義では視覚教材を多用する。さまざまな情報を入手しやすくなってきている現在において、教科書を踏まえながら、現実生じているリアルな実践に触れることのできる講義に心掛けるので、ともに学んでいく意識を持つこと。随時、配布プリントで補充していく。		
13. オフィスアワー	授業の前後に相談に応じる。メールの活用も考慮する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、オリエンテーション ストレスと脳	事前学習	教科書 pp.1～16 を読んでくる。
		事後学習	ストレスについての配布プリントを復習する。
第2回	ライフサイクルにおける精神保健 乳幼児期	事前学習	教科書 pp.17～28 を読んでくる。
		事後学習	乳幼児期についての配布プリントを復習し、ライフサイクルの表（教科書 p.56）をいつも見ることができるようしておく。
第3回	ライフサイクルにおける精神保健 学童期	事前学習	教科書 pp.28～40 を読んでくる。
		事後学習	学童期についての配布プリントを復習する。
第4回	ライフサイクルにおける精神保健 思春期、青年期	事前学習	教科書 pp.40～60 を読んでくる。
		事後学習	思春期/青年期についての配布プリントを復習する。自我同一性の拡散（教科書 p.57）について振り返る。
第5回	ライフサイクルにおける精神保健 （青年期に発症する）統合失調症、わが国の精神障害者対策	事前学習	教科書 pp.80～95 を読んでくる。
		事後学習	青年期の精神障害についての配布プリントを復習する。
第6回	ライフサイクルにおける精神保健 成人期、老年期 うつ病、認知症について	事前学習	教科書 pp.60～78、pp.95～105 を読んでくる。
		事後学習	成人期/老年期についての配布プリントを復習する。
第7回	障害者（児）の精神保健 てんかん、知的障害について	事前学習	障害にはどのような種類があるのか、調べてみる。
		事後学習	障害者（児）についての配布プリントを復習する。
第8回	成人の発達障害（アスペルガー障害、ADHD） 老年の認知症（皮質性、皮質下性）とその対策について	事前学習	発達障害や認知症にはどのような種類があり、どのような対策がなされているのか調べてみる。
		事後学習	成人の発達障害や認知症が社会問題となっている、昨今の社会背景について考えてみる。

第9回	アルコール関連問題対策 薬物乱用防止対策について	事前学習	教科書 pp.106～140 を読んでくる。
		事後学習	薬物についての配布プリントを復習する。
第10回	思春期（青年期）の精神保健対策 （オーバードーズを中心に）	事前学習	教科書 pp.140～152 を読んでくる。
		事後学習	自我同一性の拡散（教科書 p.57）と確立（教科書 p.58）について振り返ってみる。
第11回	家庭における精神保健 （児童虐待を中心に）	事前学習	教科書 pp.189～197 を読んでくる。
		事後学習	児童虐待についての配布プリントを復習する。
第12回	職場・学校における精神保健 （児童相談所の職場環境を中心に）	事前学習	教科書 pp.198～226 を読んでくる。
		事後学習	児童相談所についての配布プリントを復習する。
第13回	地域における精神保健 （保健福祉活動における具体的な技術、SST など）	事前学習	教科書 pp.227～252 を読んでくる。
		事後学習	保健福祉活動についての配布プリントを復習する。
第14回	まとめ（その1） うつ病と自殺対策、わが国の「こころの健康づくり」について	事前学習	教科書 pp.152～164 を読んでくる。
		事後学習	自殺対策には何が必要なのか、身の回りの事柄から考えてみる。
第15回	まとめ（その2） 世界的にみた精神保健の流れ	事前学習	教科書 pp.299～318 を読んでくる。
		事後学習	日本の精神医療、精神保健の現状から、日本人の特性について考えてみる。